

# 仙骨神経刺激装置による尿失禁治療について

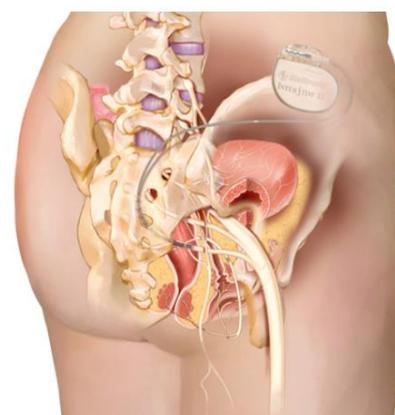
北里大学病院泌尿器科

## ■ 病名、治療の概要、治療機器について

病名：過活動膀胱

治療の概要：

尿失禁を伴う過活動膀胱の患者様に症状改善を目的として治療を行うために専用の植え込み型装置を用いて、仙骨神経を電氣的に刺激します。



治療器具名：仙骨神経刺激システム（InterStim II）

## ■ 仙骨神経刺激装置の原理

神経系を調整し、機能を回復させ QOL を向上させる治療法である Neuromodulation 治療のひとつです。

仙骨神経を電氣的に刺激することにより過活動膀胱の症状改善を目指します。

2017年9月より仙骨刺激装置による治療が保険収載されました。

## ■ 仙骨神経刺激装置治療の利点

**低侵襲**かつ効果的な外科治療です

臀部の皮下に装置を植え込みます。

**試験刺激**により有効性を判断します

予め有効であると考えられる症例のみ、永続的な植え込み術を行います。

機器を抜去すれば、ほぼ元の状態に戻せます

## ■ 以下の併用注意の医療機器があります

---

- 植込み型心臓ペースメーカー/植込み型除細動器
- 体外式除細動器
- 電気メス
- 高出力超音波装置又は結石粉碎装置
- 高周波(RF)又はマイクロ波焼灼機器
- 心電図等モニタリング装置
- 骨成長刺激装置
- 歯科ドリル及び超音波プローブ
- 電気分解法(脱毛)
- レーザ手術
- 電気ショック療法又は経頭蓋磁気刺激法等の精神療法
- 放射線照射治療 など

## ■ 注意点

---

問診票・パッドテストなどにより治療適応を確認します。

5日間程度の入院が必要であり、手術には麻酔を要します(一般には全身麻酔となります)。

臀部に4cm程度の皮膚切開と5mm程度の創が複数個所必要となります。

電池で作動します。数年で電池交換のための再手術が必要です。

器械の植え込み後はMRI検査は施行出来ません。

器械の植え込み後はジアテルミー療法(電気透熱療法)は施行出来ません。

空港などでの金属探知装置に反応することがあります。

## ■ 効果の可能性

---

100%の有効率ではありません。一部には効果が得られない方もいます。試験刺激で効果が認められない患者様には、本治療は施行出来ません。